



千頭岳

湖国健脚倶楽部

● 大津市

琵琶湖や山科盆地の眺望が楽しめる
音羽山から県境の東海自然歩道を歩く

逢

坂山から国道1号線(旧東海道)を越え、滋賀と京都の県境にある音羽山(593m)から石山寺まで、よく整備された東海自然歩道が続いています。大津や山科の街中から簡単にアプローチできるルートで、平日でも登山者の姿を見かけることがあります。

以前、本誌で山科の牛尾観音から音羽山の東海自然歩道を経て石山寺へ下るコースを紹介しましたが、今回はさらに南の千頭岳を目標に県境の尾根道を縦走。標高はさほど高くありませんが、急坂とアップダウンが多いため体力の消耗は意外と激しい。

千頭岳には、県境の東千頭岳(600m)と京都寄りの西千頭岳(602m)があり、三角点は西千頭岳にあります。時間が許せば西千頭岳まで足をのばしたいところですが、今回は東千頭岳までの稜線の往復で、下山は鳴滝不動を経て膳所へ出るルートを選びました。他に山科側なら前述の牛尾観音方面、大津側なら東海自然歩道が通る石山寺方面へ下るのが一般的です。

東千頭岳のピークから展望はありませんが、音羽山山頂からは琵琶湖と山科盆地、東海自然歩道のパノラマ台からは琵琶湖の近江大橋付近の眺望が楽しめます。

DATA

山行日 / 07年11月9日
天候 / 曇り
歩行距離 / 約10km
総時間 / 約7時間
難易度 ★★ (中級向け)



東海自然歩道のパノラマ台から琵琶湖を望む。手前が近江大橋、中央が矢橋帰帆島。



Goal!

逢坂山歩道橋で国道を横切り
急坂の東海自然歩道を南へ

京阪大谷駅から東に少し進むと蟬丸神社。石段を登り社殿の裏から山道に入ると、すぐに東海自然歩道と合流します。音羽山方面に折れ、国道1号線に架かる逢坂山歩道橋を渡ると、樹林の中を急勾配の階段道が続きます。

Start!



逢坂峠にある蟬丸神社。



国道1号に架かる逢坂山歩道橋。



清冽な水音を響かせる鳴滝不動。

鳴滝不動までは荒れた沢ルート
膳所までのんびり歩きましょう

往路を鳴滝不動の分岐点まで逆戻り。分岐点からは谷あいの急斜面をジグザグに下り、枯れ沢の道なきルートを進むと、やがて清冽な水音が…。山腹の鳴滝不動を経て麓の膳所までは長い参道を歩きます。



東海自然歩道は石山寺方面へ分岐。



県境の稜線に沿って音羽山へ
山頂からの眺望を満喫しよう

尾根道に出たら電波塔のフェンス沿いを進み、鞍部に下って再び登り返すと、音羽山路傍休憩地の分岐があります。さらに先へ進むと音羽山山頂。送電線の鉄塔がそびえるピークで、ここから山科盆地、琵琶湖が望めます。



音羽山山頂の三角点。

2

音羽山

路傍休憩地
(トイレ)あり

パノラマ台から
展望が楽しめる

3

パノラマ台からの眺めも良好!
石山寺方面の分岐まで下ります
音羽山の山頂から東海自然歩道の
ルートに戻り、鳴滝不動、牛尾観音への
分岐をやり過ごす、パノラマ台と
呼ばれる展望ポイントがあります。ここ
からは急坂の下りとなり、尾根の最低
鞍部が石山寺方面への分岐点。



稜線のアップダウンを繰り返し
醍醐方面の分岐点・東千頭岳へ

東海自然歩道を離れ、南へまっすぐ道幅のある尾根道を登ります。アップダウンを繰り返し、高度をあげていくと、醍醐方面への道が分岐するピークに到着。表示はありませんが、このあたりが東千頭岳。展望はありません。

東千頭岳のピーク。西千頭岳、
醍醐方面への道が分岐する。

「南醍醐・北小野」と刻まれた標石。



千頭岳

4



ひとくち
メモ

● 滋賀県内を通る東海自然歩道

尾国定公園から大阪の明治の森高
国定公園まで、11都府県にまた

が、全長約1697kmの道のり。各地の緑豊かな美しい自然や文化財を結んでいます。滋賀県内では北から大原(京都)・比叡山延暦寺・三井寺・石山寺・太神山・信楽・伊勢廻寺・柘植(三重)という本線ルートに、石山寺・岩間寺・平等院(京都)を経て奈良をまわる山野辺ルートがあります。

Route map

● アクセス

京阪大津駅から大谷駅まで約7分。京阪山科駅から大谷駅まで約6分。蟬丸神社は大谷駅からすぐ。下山ルートの稜線分岐から鳴滝不動までは約30分。最寄り駅はJR膳所駅、京阪膳所本町駅になるが、鶴の里団地の「鶴の里東」、国道1号沿いの「湖城ヶ丘」からJR大津駅、浜大津までバスを利用するのもいい。

● 観光に関するお問い合わせ
びわ湖大津観光協会
☎077-528-2772

※ 山行の際は、国土地理院発行の
正確な地図(2万5千分の1など)
をご使用ください。

